

全国上映スケジュール

- 12月3日(火) 三重県津市 津市川合文化会館
開場 18:30 *入場は三重県内の方に限ります
主催:津市 SAYAMA 上映実行委員会 090-7033-4860
- ★12月4日(水) 東京外語大学 授業『差別問題の社会学』
授業時間 12:15~14:10
主催:『差別問題の社会学』
*学外から参加希望の方は前日までに担当教員の黒坂愛衣までご連絡下さい。→ oae2000@hotmail.com
- 12月5日(木) 長野県長野市 長野ホテル犀北館
開場 15:00
主催:部落解放長野県民共闘会議 026-234-1626
- ★12月5日(木) 東京都墨田区 墨田区社会福祉会館
開場 18:00
主催:部落解放墨田区民共闘会議 03-3614-1903
- 12月6日(金) 大阪府和泉市 いずみ教会
開場 19:00
主催:解放をめざす会 090-8659-4817
- 12月7日(木) 東京都練馬区 練馬区立厚生文化会館
開場 18:00
主催:部落解放同盟練馬支部 練馬人権センター 石川さんをとりのもどそう 23日の会 090-8312-4984
- 12月7日(土) 群馬県前橋市 群馬会館
開場 13:30
主催:「SAYAMA みえない手錠をはずすまで」上映実行委員会 027-251-5952

- ★12月13日(金) 徳島県徳島市 ふれあい健康館ホール
開場17:30
主催:部落解放人権徳島地方研究集会実行委員会 088-655-4105 *以下、徳島県内いずれも同じ
- ★12月14日(土) 徳島県阿南市 阿南市文化会館研究室 1
開場09:30
- ★12月14日(土) 徳島県板野郡 藍住町民シアター
開場13:30
- ★12月14日(土) 徳島県美馬市 脇町劇場オデオン座
開場17:30
- 12月15日(日) 鳥取県大山町 大山町中山農村環境改善センター大ホール 開場 13:30 主催:第33回部落解放同盟鳥取県連女性部 0857-22-7940
- 12月16日(月) 兵庫県神戸市 ラッセホール
開場 15:50
主催:部落解放兵庫県民共闘会議 078-361-0505
- 12月16日(月) 京都府亀岡市 人権福祉センター綾部会館
開場 18:00
主催:部落解放同盟綾部地区協議会 0773-42-8566
- 12月17日(火) 沖縄県那覇市 連合沖縄会議室
開場:16:00 主催:連合沖縄 098-866-8905
- 12月17日(火) 京都府京都市 東本願寺視聴覚ホール
開場 17:30
主催:部落解放同盟京都市協議会 075-371-9181
- 12月19日(木) 大分県国東市 国東市隣保館
開場 18:00 主催:狭山事件を考える国東地区住民の会 0978-72-0057

- 2014年
- ★1月11日(土) 大阪府大阪市 阿倍野区民ホール
①開場 14:00 上映 14:40~ ②開場 17:30 上映 18:10~
主催:映画「SAYAMA」製作委員会関西事務局 06-6363-3542
- ★1月13日(月・休) 兵庫県神戸市 兵庫県民会館 けんみんホール
①開場 14:00 上映 14:40~ ②開場 17:30 上映 18:10~
主催:映画「SAYAMA」製作委員会関西事務局 06-6363-3542
- 1月15日(水) 大阪府豊中市 豊中人権まちづくりセンター
開場 18:00
主催:狭山事件の再審を求める豊中市民共闘会議 06-6841-5300
- 1月18日(土) 大阪府大阪市 カトリックセンター・サクラファミリア
開場 14:00
主催:部落差別と人権を考えるカトリック信徒の会 073-425-0981
- 1月26日(日) 千葉県松戸市 松戸市勤労会館
開場 13:00 主催:狭山事件にとりくむ東葛住民の会 047-343-3803
- 1月26日(日) 滋賀県彦根市 ひこね市文化プラザ
開場 09:00 主催:部落解放同盟滋賀県連合会 077-522-8290
- ★2月19日(水) 香川県高松市 アルファあなぶきホール大ホール
開場 13:00 主催:部落解放同盟香川県連合会 0877-58-6688
- ★4月6日(日) 山梨県甲府市 山梨県立文学館
開場 13:15 主催:狭山裁判山梨上映会実行委員会 055-284-3597

★…金監督が伺います。



埼玉県下 7か所上映

- 主催:部落解放同盟埼玉県連 048-525-8531
- 12月20日(金) 開場18:00
浦和市 浦和パルコ/コミュニティーセンター
 - 1月23日(木) 開場18:00
東松山市 東松山市民活動センター
 - 1月31日(金) 開場18:30
本庄市 児玉文化会館セルディー
 - 2月11日(火) 開場13:30
加須市 加須市民プラザ
 - 2月14日(金) 開場19:00
狭山市 狭山市交流センター
 - 2月16日(日) 開場13:30
熊谷市 熊谷勤労会館大ホール
 - 2月28日(金) 開場18:00
越谷市 サンシティ越谷市民ホール

「SAYAMA」を観た方々が、ブログやフェイスブックで感想を発信しています。そのなかから、いくつか、その一部をご紹介します。

● 明日も晴れ一大木晴子のページ

<http://seiko-jiro.net/>
いい映画です。私はまた一つ気持ちが強くなった感じがします。会場を出たあとに、久しぶりに気持ちがよいと感じました。それは、正直に生きる心根にふれたからだと思います。このところあまりにも酷い人たちを見続けなければいけなかったからそう感じたのだと思います。疲れている人ほど観た方がいい。生き方を学べます。

● FB 井野口善宏

<https://www.facebook.com/yoshihiro.inokuchi>
「これまでの狭山の映画になかったような映画」と聞いてからの初鑑賞でしたが、まさしくその通り。上映冒頭から会場にグラグラと笑い声。その笑い声も映画の進行と共にすすり泣くような声。そして、また笑い声。狭山事件の内容を知らない人にはなかなか理解しづらいのでは、という感想も聞きましたが、そんなことは少しも感じませんでした。これまでの映画やビデオがいかにか石川一雄さんが無罪であるかと説明していたのに対し、一人の人間を罪に落とすとはどれだけ本人や家族を苦しめるのか、苦しみというより心

にいつも刺さっているトゲに焦点をあてた内容でした。石川さんと石川さんに関わるすべての心の片隅に刺さっているトゲを抜いてあげたい、そんな気持ちにさせてくれる映画でしたし、そのためにも狭山事件なんて全く知らないという人に見て欲しい映画です。

● まいどおおきに露の新治

<http://www.geocities.jp/tsuyunoshinji/>
阿倍野区民ホールにて、映画「SAYAMA」の上映会。漫才の幸助、福助の福助さんと、浪花の歌う巨人、パギヤンこと趙博(チョウバク)さんも。「我が人生に悔い無し・石川一雄」金監督の挨拶の中で紹介された石川さんの言葉。権力と差別によって人生をずたずたにされ、無実の罪で32年、獄中で自由を奪われた人が、今現在も殺人犯とされている人が、「我が人生に悔い無し」と言い切る。「差別のために人生棒にふった」と恨んでもおかしくない人が。けど、考えてみれば、これだけ元気で、これだけ日々燃えて、これだけ生きる目的が明確で、これだけ多くの人に思われている74歳を他には知らない。見えない手錠を外れたら、「一人で自由に、ケニアに行きたい」と言う。「自由に生きてる野生動物を見たい」と。獄中の生活がいかにか不自由なものであったか。目頭がうるんだ。監督は「不運ではあるけれど、石川さんは不幸ではない」と、その凛とした生き方を称えられた。冤罪は許されないが、その不運を乗り越え、自分の人生を、見事に主役として生きる石川さん

に、今こそ学ぶべきだと思う。自分に甘く、悔いだらけの私は、石川さんの爪のあかでも戴きたい。本当にこの映画を見てよかった。ほのほのとした映画です。が、背筋が伸びました。多くの方々に見て戴きたいと思います。しかし、狭山映画の上映会に、咄家二人、漫才師一人、ギター漫談一人がそれぞれの思いで参加とは、上方芸人、ええやん!

● 『ろばや』の珈琲・紅茶・あれこれブログ

<http://blog.goo.ne.jp/robayacoffee>
初めに、この映画について語ることは「野暮」であることをお詫びしなければいけないかもしれません。作品について、石川さん夫妻について語られる言葉を読むよりも、映画を通して「ふたり」に出会ってもらわないと始まらないのです。映画を観終わって、しみじみと感じたのは「この世にはなぜ『他者』(自分以外の存在)があるのか」ということでした。そして「すべてを語らない」手法を採った金監督の胆力に敬服しました。そのストイックさこそが、映画を観た一人一人に、石川一雄さんと早智子さんがどんなに「素敵なおふたり」なのか(そして、石川さんが「無実」だということ)を、大切な家族・友人に「伝えたい」という気持ちにさせるのだと思います。そのようにしているうちに、「部落差別って何なんだ」「裁判官は何をやっていたのか?」など、諸々の強い疑問が湧いてきます。10月31日以来、私はあることを強く願い、祈るようになりました。狭山事件の再審開始と、石川さんの無実が「司法の場で」証明されることです。「願う」「祈る」という心の働

きは、起きている物事の過酷さ・残酷さを受け止めながらも、世界に対する基本的な「肯定」がなければ生まれてこないものです。それを「愛」と呼ぶか「信仰」と呼ぶかは人それぞれでしょう。私に「願う」ことを与えてくれたこの映画に、石川一雄さんに、一人でも多くの人が出会ってほしいと思います。

● 馬鹿社長ブログ「にんにく劇場」

<http://ortus.blog.fc2.com/blog-category-3.html>
決して声高に、石川一雄なる人物を無実だと主張している訳でもなく、また、科学的あるいは論理的な証拠や根拠に元づいて無実を訴えているのでもない。そうかといって、情緒で迫ろうとしている訳でもない。その意味では、観客に対して、「この人は無実と思いませんか?」と一方的に押し付けるいやらしさや卑しさが全くなくて潔い。それがかえって、観客の気持ちを惹きつける力を生み出している。石川一雄というこの男は、もしかすると無実かもしれない、と思わせる演出法になっている。実に力のある素晴らしい作品に仕上がっていると思う。

○ 映画「SAYAMA みえない手錠をはずすまで」を応援しよう!!

<https://www.facebook.com/groups/1415943388618499/>
映画「SAYAMA」を応援しようという人たちがつながっています。映画の感想、上映会情報などが寄せられています。ぜひ、あなたも。

～ 映画「SAYAMA」をご覧になった方々の感想 ～